

与謝野町農業委員会の所有者不明農地の解消に向けた取組事例

京都府与謝野町男山地域

1. 【対象地域の所有者不明農地の概要】

①対象の地域・ 農地の状況	地域計画内に相続未登記農地（事業上の所有者不明農地と分類）が点在。担い手への農地集積のため、適正な権利設定が求められている。	
②対象農地筆数	39筆	
③対象農地面積	3.7ha	

2. 【取り組み実績（スケジュール）】

①所有者等の探索	6か月
②登記の依頼	2か月
③中間管理事業の活用の働きかけ	2か月

3. 【支援地域の地図・航空写真等】

別紙のとおり

4. 【支援・取組の内容、解消の課題】

①農業会議の支援の内容 京都府農業会議の現地推進役として与謝野町を担当する職員を所有者不明農地対策事業の企画員に委嘱し、地域の話合いの場（農地農業相談、地域計画の話合いの場）等に参加。また、日常的に農業委員会・農政担当課を巡回、情報共有（資料作成）や農政と農委の調整を行うと共に事業の進捗を確認。必要に応じて委員の伴走支援など現地活動のサポートを行った。
②農業委員会の取組の内容 ・所有者不明農地対策聴き取り調査資料作成（対象者：8名）
③解消のポイントや課題 等
④次年度以降の取り組み及びフォロー 所有者不明農地対策事業の企画員が次年度以降も農業委員会の活動を支援していく（地域協議への参加や声掛け、資料作成など）。全国の取り組みの事例や府内市町の取り組み方法などを現地推進役会議等で共有し横展開を行う。

【別添：記載例】

所有者不明農地の解消プロセス（ロードマップ）

農業委員会名：与謝野町農業委員会
支援地域名：岩瀬（男山地域）

番号	地域内における所有者不明農地		所有者不明農地の状況（農地の集積・集約化への支障）		最終目標	支障状況区分	解消に向けた取組の内容					実施状況・課題 (実施月日：○月○日)	備考
	所在	面積 (ha)	状況 (支障区分)	具体的な状況			実施時期	農業委員会の取組		農業会議の支援・取組	その他関係機関の連携・協力		
								取組内容	手法				
1	与謝野町字男山小字新田2828番ほか42筆	合計3.9ha	担い手への権利設定 (所有者の特定)	近隣の耕作者（地域計画の受け手）から相続未登記農地の借受の相談があり、農地集積・集約化を進めるため担い手の営農計画に支障がないよう早急に当該農地の所有者の確認を行う。	令和8年3月までに、利用権を設定	所有者・相続人探索	7/1～3/1	関係者打合せ	農業委員会との調整会議	関係者打合せ	関係者打合せ	打合せ・調整会議完了(7月31日)	
							8/1～3/1	戸籍等の収集・情報整理	農業委員会が公用請求	進捗状況ヒアリング		情報収集完了(8月31日)	
							9/1～1/3/1	地域及び自治会等へのヒアリング	現地推進役、委員等による聞き取り	自治会等への協力願い		ヒアリング・聞き取り(39筆中29筆完了) 未了分については方法を検討中	
							11/1～3/3/1	特定した相続人の所在確認、相続登記の働きかけ	現地推進役、委員等による訪問、農業委員会による書面調査		ヒアリング・聞き取り(39筆中29筆完了) 未了分については方法を検討中		
						農地利用の同意取付け	1/4～3/3/1	農地利用（バンク事業）に関する同意取り付け	委員等による訪問、農業委員会による書面調査			終了（3月31日）	
							1/4～3/3/1	同意取り付け状況の整理	農業委員会が整理			終了（3月31日）	
3													
4													
5		合計3.9ha											

- 注）
- 「地域内における所有者不明農地」欄には、所有者不明農地の状況（支障区分、具体的な状況）別に、農地の所在及び面積を記載して下さい。
 - 「所有者不明農地の状況」欄には、数次相続、遊休農地化、土地改良事業の実施予定等、所有者不明農地の解消に向けた支障区分（課題）とその具体的な内容を記載して下さい。
 - 「最終目標」欄には、所有者特定、相続登記、農地バンク事業による利用権設定への同意、所有者不明農地制度の活用など、解消目標と時期を記載して下さい。
 - 「解消に向けた取組の内容」欄には、所有者不明農地の解消に至るまでの取組別に実施時期、内容、農業会議や関係機関等による支援について具体的に記載し、定期的に記載内容を更新して下さい。
 - 「実施状況・課題」欄には、農業会議と協議の上、進捗状況及び取組開始後に生じた課題等の内容を記載し、定期的に記載内容を更新して下さい。

所有者不明農地対策(相続登記推進声掛け活動状況)報告書

[illegible]



